

2025 年 7 月 17 日

各 位

株式会社デジタルプラス（コード番号：3691）

代表取締役社長 菊池 誠晃

デジタルウォレットが「NIKKEI Financial」にて掲載されました

株式会社デジタルプラス（代表取締役社長：菊池 誠晃、本社：東京都渋谷区、東証グロース市場：証券コード 3691）の子会社である、株式会社デジタルフィンテック（代表取締役社長：菊池 誠晃、本社：北海道札幌市）が運営する「デジタルウォレット」が、2025 年 7 月 17 日（木）の「NIKKEI Financial」にて紹介されました。



デジタル給与払い制度の開始から一定期間が経過しましたが、現状では制度的な制約もあり、普及には至っていません。また、報酬を月 1 回ではなく「働いた分をその都度、すぐに受け取りたい」というニーズが高まっています。こうした背景をふまえ、当社グループでは、報酬をすぐに、好きな方法で受け取れるサービスとするべく、第二種資金移動業の登録を進めてまいりました。

今回取り上げていただいた「デジタルウォレット」は、第二種資金移動業者の登録完了により、PayPay マネーライトをはじめとする各種ペイサービスやキャッシュレスなど、好きな方法で報酬の即時受け取りが可能となります。金融機関や経済圏の垣根を越えて、「送りたい人に、送りたい方法で、直感的に送れる」新しい報酬体験を提供してまいります。

記事はこちら：<https://financial.nikkei.com/article/DGXZQOUB26AQN0W5A620C2000000>

■流通総額 1,000 億円に向けて

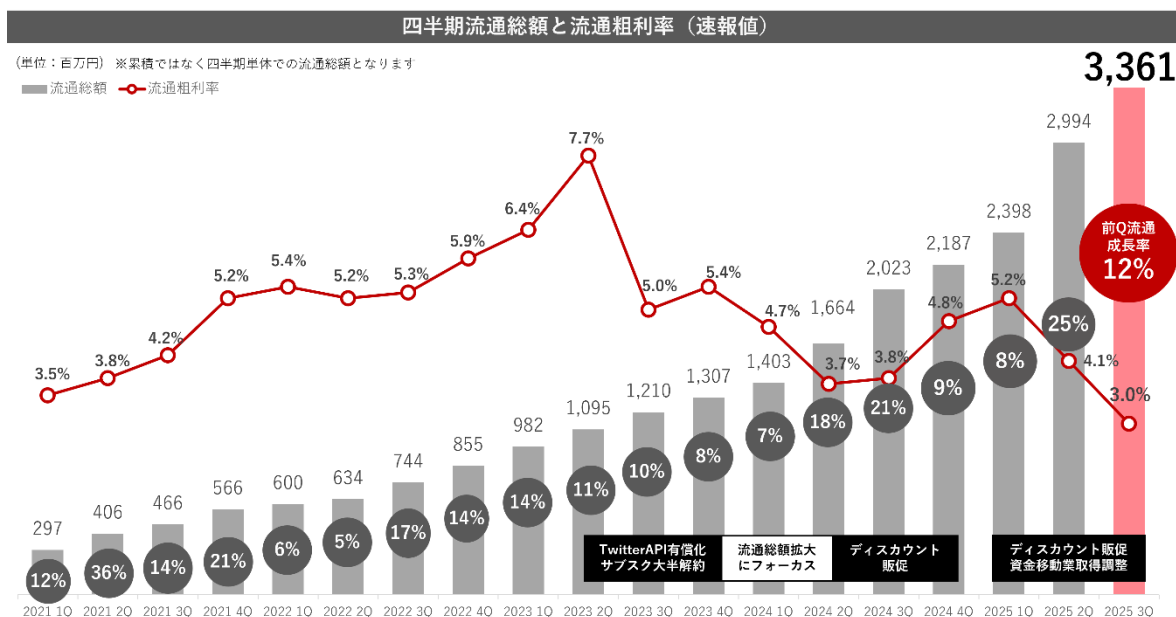
当社は、2027 年 9 月期における流通総額 1,000 億円の達成を中期目標(※)に掲げ、以下の施策を中心に流通総額の拡大を推進しております。

- ・株主優待領域をはじめとするデジタルギフト®の提供範囲拡大
- ・補助金ファクタリングの再開
- ・資金移動業サービスの事業展開

また、中間目標として、現在の約 3.5 倍にあたる「月間」流通総額 35 億円（年間 420 億円ベース）を設定し、各施策を着実に推進してまいります。

2025 年 9 月期第 3 四半期においては前四半期対比 112%、流通総額約 34 億円へ到達いたしました。流通総額 1,000 億達成に向けて、「3 万円以下の to C 現金支払い」を、①広告領域 ②人材領域 ③金融領域の 3 軸にて網羅を目指してまいります。各領域における取り組みを強化し、2027 年 9 月期に掲げている流通総額 1,000 億円を達成することで、圧倒的低手数料を実現し、より多くの企業様にご利用いただけるよう、更に邁進してまいります。

※資金移動業取得の遅れにより中期目標の時期を見直し中



■デジタルフィンテック運営サービスについて

- ・デジタルウォレット：<https://digital-wallet.jp/>
- ・デジタルギフト®：<https://digital-gift.jp/>

■株式会社デジタルプラス 会社概要

社名	株式会社デジタルプラス
代表取締役社長	菊池 誠晃
所在地	〒151-0062 東京都渋谷区元代々木町 30-13
設立年月日	2005 年 7 月 29 日
事業内容	フィンテック事業・デジタルマーケティング事業
コーポレートサイト	https://digital-plus.co.jp/

■株式会社デジタルフィンテック 会社概要

社名	株式会社デジタルフィンテック
代表取締役社長	菊池 誠晃
所在地	〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西 8-1-8
設立年月日	2016 年 4 月 20 日
事業内容	フィンテック事業

以 上

【当リリースに関するお問い合わせ先】

株式会社デジタルプラス PR 担当 諸星

TEL:03-5465-0690

Email: pr@digital-plus.co.jp